スタディサプリ 時事更新リスト

科目	社会
講座名	高1・高2・高3 地理
講師名	鈴木 達人

「高1・高2・高3 地理」は、最新の時事を反映するため2020年度で時事更新を行いました。
購入されたテキストをお持ちの方、もしくは2021年2月8日前に本講座のテキストをダウンロードされた方は、
下記の時事更新箇所一覧をご確認いただくことで、お手持ちのテキストをそのままお使いいただけます。

番号	講義No.	頁(p)	修正箇所	更新前表記	更新後表記
1	目次	テキスト（前編） 4	下から2行目	2019年度版です	2020年度版です
2	1	テキスト（前編） 6	上から11行目	人口密度：330人/km2	人口密度：335人/km2
3	1	テキスト（前編） 6	下から9行目～	※一行追加	それぞれ次のような数値で覚えておくと使いやすい。
4	1	テキスト（前編） 6	下から9行目	1位：中国(14億人) 世界の5人に1人が中国人	1位：中国(14.5億人) 人口増加率は世界平均を下回る
5	1	テキスト（前編） 6	下から8行目	2位：インド(13.5億人) 高い人口増加率で将来的に中国を逆転	2位：インド(14億人) 多産を奨励するヒンドゥー教徒が多い
6	1	テキスト（前編） 6	下から7行目	3位：アメリカ合衆国(3億人) 移民の流入が多い	3位：アメリカ合衆国(3.5億人) 移民の流入が多く，彼らの出生率も高い
7	1	テキスト（前編） 6	下から5行目	5位：ブラジル(2億人) 混血が進む「人種のるつぼ」	5位：パキスタン(2.2億人) 乾燥した国土。外来河川インダス川を有する。
8	1	テキスト（前編） 6	下から4行目	6位：パキスタン(2億人) 砂漠国であるが人口規模が大きい	6位：ブラジル(2.1億人) 混血が進む「人種のるつぼ」。南米大陸の半分を占める人口と面積
9	1	テキスト（前編） 6	下から3行目	7位：ナイジェリア(2億人) アフリカ最大の人口	7位：ナイジェリア(2億人) アフリカ最大の人口。GNIもアフリカで1位
10	1	テキスト（前編） 6	下から2行目	8位：バングラデシュ(1.7億人)	8位：バングラデシュ(1.6億人)
11	1	テキスト（前編） 6	最終行	9位：ロシア(1.4億人) 旧ソ連を構成していた15か国合計では3億人	9位：ロシア(1.5億人) 人口密度は10人/km2に満たない
12	1	テキスト（前編） 7	1行目	10位：メキシコ(1.3億人) 近年，日本を上回った	10位：メキシコ(1.3億人) カトリックが主に信仰され，人口増加率は高め
13	1	テキスト（前編） 7	3行目～	※一文追加	主な国についても次のような数値で国に入れておくといいだろう。
14	1	テキスト（前編） 7	3行目	1億人：フィリピン	1億人：フィリピン・ベトナム
15	1	テキスト（前編） 7	4行目	9000万人：ベトナム	※削除・上記で記載
16	1	テキスト（前編） 7	7行目	3500万人：カナダ	4000万人：カナダ
17	1	テキスト（前編） 7	9行目	500万人：シンガポール・ノルウェー・ニュージーランド	人口小国：シンガポール・ノルウェー・ニュージーランド（いずれも500万人程度と覚えておこう）
18	1	テキスト（前編） 7	下から13行目	ヨーロッパの主な国の人口規模も知っておこう。	主要国については次のような概数で覚えておく。
19	1	テキスト（前編） 7	下から11行目	6000～7000万人：フランス・イギリス・イタリア	7000万人；イギリス 6500万人；フランス 6000万人；イタリア
20	1	テキスト（前編） 7	下から9行目	1500万人：オランダ 1000万人未満：それ以外の国々	それ以外の国々（スウェーデンやベルギー，オランダ，ポルトガルなど）についてはいずれも1000 万人規模と考えれば十分。上記の主要5か国との間には決定的な違いがある。
21	1	テキスト（前編） 7	下から3行目	人口1000万人という数値は一つの単位として重要。ヨーロッパの国の多くの人口が人口がこれに当てはまるだけでなく，ニューヨークや東京，シャンヤイなど世界の大都市の人口規模でもある。	共通テスト地理で一般に「大都市」と言われる場合は，人口1000万人規模とそれ以上の人口を有する都市を考える。東京やシャンハイ，ニューヨークなどは①000万人をはるかに上回る人口規模。西ヨーロッパの多くの「国」はそれら「大都市」より規模が小さいのだ。
22	1	テキスト（前編） 8	5行目	3位：アメリカ合衆国(日本の25倍)	3位：アメリカ合衆国(日本の26倍)
23	1	テキスト（前編） 8	下から5行目	人口が日本の3分の1（4500万人）	人口が日本の5分の2（5000万人）
24	1	テキスト（前編） 8	下から3行目	(韓国の人口密度)=330×(1/3)÷(1/4)≒450	(韓国の人口密度)=335×(2/5)÷(1/4)≒500
25	1	テキスト（前編） 8	最終行	(オーストラリアの人口密度)=330×(1/5)÷20≒3	(オーストラリアの人口密度)=335×(1/5)÷20≒3
26	1	テキスト（前編） 10	表	本リストのP7に掲載	–
27	1	テキスト（前編） 11	14行目	※注意文追加	(注意)1人当たりGNIについて最新のデータが重要であるはずなのだが，実際の入試では比較的古い数値が登場している。2020年センター試験地理Bで登場した1人当たりGNIの数値は2015年のものであった。ここでは2017年の数値を紹介しており，これを知っておけば2021年共通テストの内容にも十分対応できると思われる。もちろん，各自で最新の統計をチェックしておくことも重要。
28	1	テキスト（前編） 12	2行目	2位；中国(8000×14億)	2位；中国(8500×14億)
29	1	テキスト（前編） 12	5行目	5位；イギリス(40000×0.65億)	5位；イギリス(40000×0.7億)

30	1	テキスト（前編）12	8行目	8位；カナダ(40000×0.35億)	8位；カナダ(45000×0.4億)
31	1	テキスト（前編）13	5行目	世界人口を64億人とみなし，これを(8億×8)と考える	2000年代前半をモデルケースとして，まずは次のような数字でイメージしよう。世界全体の人口を64億人と仮定し(8億人×8)，アジアに8分の5が集中，アフリカ，ヨーロッパ(ロシア含む)，南北アメリカに8分の1ずつ(8億人×3)。
32	1	テキスト（前編）13	8行目	ヨーロッパ＋旧ソ連；8億	ヨーロッパ；8億
33	1	テキスト（前編）13	11行目～	ヨーロッパと旧ソ連は，5億人と3億人と考える。例えば，ヨーロッパの主要国のほとんどが加盟するEUの人口は5億人弱。 南北アメリカは，アングロアメリカ(カナダとアメリカ合衆国)で3億人。ラテンアメリカ(メキシコ以南)で5億人。 現在(2018年)はもちろんこれより大きい値となっているところが多いが，人口増加率との関係からおおよその人口規模は想像してみるといい。例えばアフリカはすでに10億人を超えている。	以上のように，アジアに圧倒的な人口が集中し，それ以外の地域は平均的な分布であることを考える。なお，現在の具体的な数値は次のとおりである。 アジア；46億人(人口増加率やや高い) アフリカ；13億人(人口増加率極めて高い) ヨーロッパ；7.5億人(人口は停滞。一部で減少) 南北アメリカ；10億人(人口増加率は高い) オセアニア；0.5億人(人口増加率は高いが，実数としては大きな数字ではない) 合計で77億人となり，これを2010年代後半の人口と考える。 出題の年次がやや古くても，当時の人口規模を想像することは十分に可能であり，解答には支障ないだろう。「アジアに8分の5，アフリカ，ヨーロッパ，南北アメリカに8分の1ずつ」を基本的な人口分布とし，さらに「ヨーロッパで8分の1よりやや少なく，アフリカで8分の1よりやや多い」という覚え方をしておけばいい。
34	1	テキスト（前編）13	下から8行目	＜世界平均より高い大陸＞	＜世界平均以上の大陸＞
35	1	テキスト（前編）13	下から6行目	1.5%；ラテンアメリカ(カトリックで中絶が禁じられる)・南アジア(ヒンドゥー教で多産)	1.5%；南アジア(ヒンドゥー教で多産) 1.0%；ラテンアメリカ(カトリックで中絶が禁じられる)
36	1	テキスト（前編）14	4行目	出生率を低く抑えているからである。	出生率が低く抑えられていたことの影響である。
37	1	テキスト（前編）15	下から2行目	1.4人で世界最低レベル	1.43人で極めて低い
38	1	テキスト（前編）16	9行目	ドイツ；1.4%，アメリカ合衆国；1.5%，オーストラリア；2.6%，フランス；3.1%，イタリア；3.6%，日本；3.8%。	ドイツ；1.3%，アメリカ合衆国；1.6%，オーストラリア；2.6%，フランス；2.8%，日本；3.4%，イタリア；3.9%。
39	1	テキスト（前編）16	下から10行目	タイは1人当たりGNIが5000ドル	タイは1人当たりGNIが6000ドル
40	1	解答（前編）2	下から9行目	330人/km2である	335人/km2である
41	1	解答（前編）2	下から5行目	330×2.5÷25より	335×2.5÷25より
42	1	解答（前編）2	下から3行目	よって330×10÷9より	よって335×10÷9より
43	1	解答（前編）3	13行目	イギリス；40000ドル×0.6億人 スペイン；30000ドル×0.4億人	イギリス；40000ドル×0.7億人 スペイン；30000ドル×0.45億人
44	1	解答（前編）4	11行目	※一文追加	現在の人口3.3億人と4000万人である
45	1	解答（前編）5	6行目	1.5%；南アジア・ラテンアメリカ，0.5%；東アジアアングロアメリカ	1.5%；南アジア，1.0%；ラテンアメリカ，0.5%；東アジアアングロアメリカ
46	1	解答（前編）80	最終行	※追加	なお本問いについては問題の出題された年次との兼ね合いから，あえて最新のデータではなくやや古い数値に基づいて考察を進めている。最新のデータにおいても，それぞれの地域の人口は「東アジア・東南アジア・オセアニア」＞「南アジア」＞「サハラ以南のアフリカ」＞「中央・南アメリカ」の順には変化はない。細かい数字にこだわるのではなく，計算によって解答を求めるという考え方にこそ注目して欲しい。
47	1	解答（前編）81	4行目	人口密度が330人/km2であるので	人口密度が335人/km2であるので
48	2	テキスト（前編）37	下から2行目	中国，韓国・朝鮮に次ぎ，ブラジルが3位。	ブラジルが5位(1位中国，2位韓国・朝鮮，3位ベトナム，4位フィリピン)。
49	2	解答（前編）10	下から11行目	高い国ではなく，	高い国ではなく(1人当たりGNIは10000ドルに達しない)，
50	2	解答（前編）10	下から10行目	1人当たりGNIは8000ドルであるものの，地域差が激しく	経済レベルの地域差が激しく
51	2	解答（前編）85	15行目	自由貿易経済圏(EUやNAFTA)に	自由貿易経済圏(EUや当時のNAFTA)に
52	3	テキスト（前編）64	下から4行目	タイは1人当たりGNIが5000ドルに達し	タイは1人当たりGNIが6000ドルに達し
53	3	テキスト（前編）65	1行目	アメリカ合衆国(1.7%)でとくに低い値となり，日本(3.5%)や	アメリカ合衆国(1.6%)でとくに低い値となり，日本(3.4%)や
54	3	テキスト（前編）65	14行目	都市人口割合が30%と極めて低い国	都市人口割合が50%と低い国
55	3	テキスト（前編）65	下から2行目	現在の3種類の就業人口割合はおおよそ「5%：30%：65%」である。	「1次：2次：3次」については「5%：30%：65%」と覚えておくと使いやすい(最新のデータでは「3.4%：24.3%：70.7%」である)。
56	3	解答（前編）14	下から16行目	解決されることもあるのだが。	解決されることもあるのだが，かつての社会主国のように権利が制限された国の場合，そうしたケースは少ない。
57	3	解答（前編）19	11行目	1人当たりGNIも5000ドルと決して低くは	1人当たりGNIも5000ドルを超え，決して低くは
58	3	解答（前編）19	下から15行目	2013年の統計で，1.1%・イギリス，1.4%・ドイツ，1.5%・アメリカ合衆国，2.6%・オーストラリア，3.1%・フランス，3.6%・イタリア，3.8%・日本。	2016年の統計で，1.1%・イギリス，1.3%・ドイツ，1.6%・アメリカ合衆国，2.6%・オーストラリア，2.8%・フランス，3.4%・日本，3.9%・イタリア。

59	3	解答（前編）	88	下から2行目	(韓国で25000ドルを超え、メキシコが10000ドル)	(韓国で30000ドル、メキシコが10000ドル)
60	3	解答（前編）	89	下から9行目	第1次産業就業人口割合も4%近くに達する	第1次産業就業人口割合も3%を超える
61	11	テキスト（前編）	240	6行目	米；生産量は世界全体で7億t以上。	米；生産量は世界全体で約8億t。
62	11	テキスト（前編）	240	13行目	輸出量1位はアメリカ合衆国で，他にはフランスなど。	輸出上位国は主に新大陸の国。他にはフランスなど。
63	11	テキスト（前編）	240	下から9行目	トウモロコシ；生産量は世界全体で10億t。	トウモロコシ；生産量は世界全体で10億t以上。
64	11	テキスト（前編）	242	2行目	綿花；生産1位インド，2位中国，3位アメリカ合衆国。	綿花；生産上位国は中国，インド，アメリカ合衆国。
65	11	テキスト（前編）	242	5行目	北西部のシンチャン	北西部のシンチヤン
66	11	テキスト（前編）	242	下から12行目	外来河川は非常に重要である。	地名があまり問われないセンター地理において例外的に頻出となっていたのが外来河川。共通テストでも重要性は変わらない。
67	11	テキスト（前編）	243	2行目	生産上位国はインドや中国であるが，スリランカやケニアで輸出量が多いことに注意	生産上位国は中国たインドであるが，ケニアやスリランカで輸出量が多いことに注意
68	11	テキスト（前編）	244	下から11行目	飼育頭数1位インド，2位ブラジル，	飼育頭数1位ブラジル，2位インド，
69	11	テキスト（前編）	245	下から10行目	(2016年時点)	(2019年時点)
70	11	テキスト（前編）	247	9行目	小麦…オランダで30%と極めて低い(園芸農業)。	小麦…オランダで15%と極めて低い(園芸農業)。
71	11	テキスト（前編）	248	5行目	主なオアシス農業地域は，	かつてセンター試験で取り上げられた主なオアシス農業地域は，
72	11	解答（前編）	62	5行目	ルーマニアやユーゴスラビア	ルーマニアや旧ユーゴスラビア
73	11	解答（前編）	105	3行目	(2014年時点)	(2018年時点)
74	12	テキスト（前編）	268	8行目	ヨーロッパではポーランド。	ヨーロッパではロシア，ポーランド。
75	12	テキスト（前編）	268	12行目	OPEC(石油輸出国機構，12か国)	OPEC(石油輸出国機構，14か国)
76	12	テキスト（前編）	268	下から12行目	最大の輸入国はアメリカ合衆国。	輸入上位国は中国。
77	12	テキスト（前編）	268	下から10行目	日本は主にオーストラリアやマレーシア，インドネシアなどオセアニア，東南アジアから輸入している。	日本の輸入先上位はオーストラリアとマレーシアだが，近年カタール，ロシアからも増加。
78	12	テキスト（前編）	269	12行目	日本の主な輸入国はオーストラリアやブラジル，インド。ヨーロッパではスウェーデン。	日本の主な輸入国はオーストラリアやブラジルなど。西ヨーロッパではスウェーデン。
79	12	テキスト（前編）	269	18行目	ニューカレドニア(フランス)で産出量が多い。	フィリピンなど。ニューカレドニア(フランス)での産出も特徴的。
80	12	テキスト（前編）	269	下から2行目	モロッコやチュニジアなど北アフリカ，太平洋の島国ナウル。	モロッコやチュニジアなど北アフリカでの産出が比較的多い。太平洋の島国ナウルでもかつて産出(現在は枯渇)。
81	12	テキスト（前編）	270	3行目	世界最大の輸入国となっている。	世界的な輸入国でもある。
82	12	解答（前編）	72	6行目	現在(2015年)の産出上位国を紹介しておこう。	現在の産出上位国を紹介しておこう。
83	12	解答（前編）	72	8行目	5位アメリカ合衆国	5位アメリカ合衆国(2017年)
84	12	解答（前編）	72	9行目	原油…1位ロシア，2位サウジアラビア，3位アメリカ合衆国	原油…1位アメリカ合衆国，2位ロシア，3位サウジアラビア(2019年)
85	12	解答（前編）	72	10行目	天然ガス…1位アメリカ合衆国，2位ロシア	天然ガス…1位アメリカ合衆国，2位ロシア(2017年)
86	12	解答（前編）	72	11行目	ウラン…1位カザフスタン，2位カナダ	ウラン…1位カザフスタン，2位カナダ(2018年)
87	12	解答（前編）	72	下から3行目	ロシアは世界最大の原油，天然ガス産出国であるばかりでなく，	ロシアは原油と天然ガスの世界的な産出国であるばかりでなく，
88	12	解答（前編）	73	9行目	液体燃料(原油)に依存する	液体燃料(石油)に依存する
89	12	解答（前編）	73	11行目	その依存率は50%弱。	その依存率は40%を超える。
90	12	解答（前編）	74	7行目	一次エネルギーとは石炭，原油，	一次エネルギーとは石炭，石油，
91	12	解答（前編）	74	10行目	原油…ロシア・サウジアラビア・アメリカ合衆国	石油(原油)…ロシア・サウジアラビア・アメリカ合衆国
92	12	解答（前編）	77	3行目	ドイツ(8千万人)，フランス・イギリス・イタリア(各6千万人台)，スペイン(4千万人)，	ドイツ(8000万人)，フランス・イギリス・イタリア(6000～7000万人台)，スペイン(4500万人)，
93	12	解答（前編）	108	11行目	アメリカ合衆国が世界最大の原油輸入国であり	アメリカ合衆国が中国に次ぐ世界2位の原油輸入国であり

94	13	テキスト（後編）	4	目次下	※右記追加	このテキストは2020年度版です。年度切り替わりの前後に講座ページに掲載予定の時事更新一覧んをご確認いただくことで，来年度以降もこのテキストをそのままお使い頂けます。
95	13	テキスト（後編）	8	下から11行目	鹿島(鹿嶋)	鹿島(鹿嶋，神栖)
96	13	テキスト（後編）	11	下から12行目	1位中国，2位日本，3位インド	1位中国，2位インド，3位日本
97	13	テキスト（後編）	13	7行目	1位韓国，2位中国，3位日本。	1位中国のほか，日本と韓国が上位。
98	13	テキスト（後編）	13	19行目	稼働台数は日本が首位。	日本でも稼働台数が多いことが特徴。
99	13	解答（後編）	4	7行目	1人当たりGNIは日本が40000ドル，タイが5000ドル。	1人当たりGNIは日本が40000ドル，タイが10000ドルに満たない。
100	13	解答（後編）	7	下から8行目	間違いないのだが。	間違いないのだが国外での生産も多いことを知っておこう。
101	13	解答（後編）	8	下から4行目	現在，化学繊維の生産は1位中国，2位インド，3位台湾，4位アメリカ合衆国であるが	先進国，NIEs，発展途上国の関係を考えれば
102	14	テキスト（後編）	32	6行目	最大の貿易相手国は輸出がアメリカ合衆国，輸入が中国。	貿易相手国の上位はアメリカ合衆国と中国。
103	14	テキスト（後編）	34	14行目	中国…貿易額世界1位	中国…貿易額が大きい
104	14	テキスト（後編）	34	下から9行目	世界最大の輸出量を持つ米	世界有数の輸出量を持つ米
105	14	テキスト（後編）	34	下から5行目	最大貿易相手国はマレーシア	主な貿易相手国にマレーシアがある
106	14	テキスト（後編）	34	下から2行目	インドネシア…最大の輸出相手国は日本。石炭，	インドネシア…石炭，
107	14	テキスト（後編）	36	8行目	原油が輸出額の7割以上を占める	原油が輸出額の8割以上を占める
108	14	テキスト（後編）	36	下から11行目	アラブ首長国連邦・カタール・クウェート・イラク	アラブ首長国連邦・クウェート・イラク
109	14	テキスト（後編）	36	下から9行目	リビア・アルジェリア・ナイジェリア・アンゴラ	リビア・アルジェリア・ナイジェリア・アンゴラなど
110	14	テキスト（後編）	36	下から8行目	ベネズエラ・エクアドル	ベネズエラ
111	14	テキスト（後編）	36	下から7行目	アラブ首長国連邦・カタール・クウェート・イラク・リビア・アルジェリアの7カ国	アラブ首長国連邦・クウェート・イラク・リビア・アルジェリアの6カ国
112	14	テキスト（後編）	36	下から5行目	エクアドルのように比較的他の品目(バナナや魚介類)の輸出が多い国もあるが，最大の輸出品目はやはり原油である。	※削除
113	14	テキスト（後編）	37	1行目	サウジアラビア…原油の埋蔵量，輸出量いずれも世界1位。産出量はロシ アに次いで2位	サウジアラビア…原油輸出量世界1位。産出量・埋蔵量も世界上位。
114	14	テキスト（後編）	37	14行目	イギリス…原油の輸出。エネルギー自給率が100%を超える国である。	イギリス…原油の輸出。エネルギー自給率が高い。
115	14	テキスト（後編）	38	2行目	貿易依存度(GNIに対する貿易額の割合)も50%を超えている	輸出依存度及び輸入依存度(GNIに対する輸出額，輸入額の割合)はいずれも50%を上回っている
116	14	テキスト（後編）	38	9行目	NAFTA(北アメリカ自由貿易協定)の3カ国	NAFTA(北アメリカ自由貿易協定。現在はUSMCAに発展)の3カ国
117	14	テキスト（後編）	38	下から2行目	最大の輸出相手国は日本であるなど	最大の輸出相手国は中国であるなど
118	14	テキスト（後編）	39	10行目	ENの加盟国はヨーロッパ28か国で人口規模は5億人。	ENの加盟国はヨーロッパ27か国で人口規模は4.5億人。
119	14	テキスト（後編）	39	12行目	その総額は世界全体の40%を占める	その総額は世界全体の30%を占める
120	14	テキスト（後編）	39	14行目	NAFTAの調印国はアメリカ合衆国，カナダ，メキシコで人口規模は約4.5億人	NAFTAの調印国はアメリカ合衆国，カナダ，メキシコで人口規模は5億人
121	14	テキスト（後編）	39	15行目	アメリカ合衆国にとって最大の貿易相手国はカナダであり	アメリカ合衆国にとって最大の貿易相手国は中国だが，カナダ，
122	14	テキスト（後編）	39	19行目	※追加	なお，現在はNAFTAは失効し，新たな貿易協定としてUSMCA(米国・メキシコ・カナダ協定)が発効した。両者の内容には多少の差異はあるが，現時点でその影響は統計などに現れておらず，高校地理のレベルでは意識する必要はない。
123	14	テキスト（後編）	39	下から10行目	EUの加盟国は28か国である	EUの加盟国は27か国である
124	14	テキスト（後編）	39	最終行	イギリスなどでは未使用。	スウェーデンなどでは未使用。 (注意)現在はイギリスが離脱したことで加盟国は27か国。域内人口もイギリスが含まれていた時代は5億人を超えていたが，現在は4億5千万人程度。
125	14	テキスト（後編）	41	8行目	NAFTA…北アメリカ自由貿易協定。アメリカ合衆国，カナダ，メキシコ。自由貿易が実現しているが，ヒトの移動は自由ではない。	NAFTA…現在はUSMCAに発展し，条約の内容やや変更点はあるが，とくに考慮しなくともよい。
126	14	解答（後編）	10	10行目	NAFTAに調印し，	NAFTA(現USMCA)に調印し，
127	14	解答（後編）	10	下から13行目	NAFTAに調印国は	NAFTA(現USMCA)の調印国は

128	14	解答（後編）	10	下から12行目	メキシコはおよそ10000ドルの発展途上国	メキシコは10000ドルに達しない発展途上国
129	14	解答（後編）	90	9行目	GNIはNAFTA調印国中最下位となる	GNIはNAFTA(現USMCA)調印国中最下位となる
130	14	解答（後編）	90	下から5行目	NAFTA(北アメリカ自由貿易協定)がカギとなる	NAFTA(現USMCA)がカギとなる
131	14	解答（後編）	91	12行目	エクアドルについてはOPEC(石油輸出国機構)加盟国であることを意識しておこう。OPEC加盟国は12か国あるが，全て最大の貿易品目は原油となっており，国内経済を原油および石油産業に過度に依存している原油モノカルチャーである。エクアドルは，バナナの輸出で知られる国であり，	エクアドルはかつてOPEC(石油輸出国機構)にも加盟していた産油国であり，原油が最大の輸出品目となっている。この国は，バナナの輸出でも知られ，
132	14	解答（後編）	91	17行目	OPECの国を確実チェックしておいて，その輸出統計に関しては原油のウェイトがとくに高いことを確認する。	※削除
133	16	テキスト（後編）	82	最終行	※追加	(参考)日本の都市の人口には多少の変動がある。上のデータは2017年のものである。最新(2019年)のデータを次に示しておくので，参考にしてほしい。 数値はいずれも概数である。 1位；横浜市(370万人) 2位；大阪市(270万人) 3位；名古屋市(230万人) 4位；札幌市(200万人) 5位；福岡市(150万人) 6位神戸市(150万人) 7位；川崎市(150万人) 8位；京都市(140万人) 9位；さいたま市(130万人) 10位；広島市(120万人) 11位；仙台市(110万人) 12位；千葉市(95万人) 13位；北九州市(95万人) 14位；堺氏(85万人) 15位；浜松市(80万人) 16位；新潟市(80万人) 17位；熊本市(75万人) 18位；相模原市(70万人) 19位；岡山市(70万人) 20位；静岡市(70万人)
134	16	解答（後編）	25	12行目	千葉県の人口増加率はマイナスに転じている(つまり減少)	千葉県の人口は微増にとどまり，人口増加率はかつてほど高くない
135	17	解答（後編）	28	3行目	人口3億人のアメリカ合衆国は	人口3億人を超えるアメリカ合衆国は
136	17	解答（後編）	28	4行目	人口8000万人のドイツは	人口8000万人程度のドイツは
137	17	解答（後編）	32	下から13行目	自由貿易(NAFTA)によって	自由貿易によって
138	17	解答（後編）	97	11行目	人口2千万人の小国であり，さすがに一つの都市だけで人口が1000万人に達することはないが，シドニー(450万人)とメルボルン(400万人)は規模が大きな都市である	人口2500万人の小国であり，さすがに一つの都市だけで人口が1000万人に達することはないが，シドニーとメルボルンは規模が大きな都市である(ともに450万人超)
139	19	テキスト（後編）	141	4行目	1人当たり県民所得において，北海道は全国32位，沖縄県は最下位。	1人当たり県民所得において，北海道は全国30位，沖縄県は最下位。
140	19	解答（後編）	45	下から10行目	それはNAFTAの一員で	それはNAFTA(現USMCA)の一員で
141	19	解答（後編）	46	下から12行目	もちろん雨が降ったら溶けてしまうのだが。	もちろん降雨には弱いのだが，乾燥地域ではその心配も少なく，適当な建築材料となる。
142	19	解答（後編）	47	下から12行目	日本の値は40000ドル近くに達し極めて高いのに対し，韓国は30000ドルに達しない。	40000ドル近くに達する日本に対し，韓国はそれより低い値である。
143	19	解答（後編）	48	2行目	Bのドイツ(45000ドル)が①，比較的1人当たりGNIが高い(10000ドル)Aのメキシコが	Bのドイツ(40000ドルを超える)が①，比較的1人当たりGNIが高い(10000ドル程度)Aのメキシコが
144	19	解答（後編）	103	最終行	イギリスのサッチャーや	イギリスのテリーザ・メイや
145	20	テキスト（後編）	164	下から9行目	やはり豚は分布しない。	やはり豚の飼育頭数は少ない。
146	20	テキスト（後編）	164	下から9行目下	※追加	(参考)アラブ諸国には産油国が多く，OPEC(石油輸出国機構)の中でも重要な地位を占めている。OPEC加盟国は変動が大きいため，正確な理解は不要であり，問題を解く際にもおおまかなイメージさえ持っておけばいい。参考までに2020年のOPEC加盟国を紹介しておこう(●はアラブ民族が多数を占める国)。 (西アジア)イラン・●サウジアラビア・●イラク・●クウェート・●アラブ首長国連邦 (アフリカ)●リビア・●アルジェリア・コンゴ共和国・ナイジェリア・赤道ギニア・アンゴラ・ガボン (南アメリカ)ベネズエラ
147	20	テキスト（後編）	167	2行目	カリフォルニア州ではその数は1000万人に達したという統計もある。	カリフォルニア州ではその数は州の総人口の40%に当たる1500万人に達したという統計もある。
148	20	テキスト（後編）	168	15行目	④；ピレネー山脈西部のバスク地方には独自の言語を使用するバスク人が。	④；ピレネー山脈西部のバスク地方には独自の言語を使用するバスク人が分布。
149	20	テキスト（後編）	168	下から11行目	③；セルビア・モンテネグロは	③；旧セルビア・モンテネグロは
150	20	解答（後編）	52	1行目	大学受験地理において最低限知っておくべき例外を挙げる	最低限，以下のことを知っておこう
151	21	解答（後編）	57	2行目	牛肉…オーストラリア・アメリカ合衆国・ニュージーランド	牛肉…オーストラリア・アメリカ合衆国・カナダ
152	21	解答（後編）	57	3行目	木材…カナダ・ロシア・マレーシア	木材…主にカナダ。熱帯雨林はマレーシア
153	21	解答（後編）	57	9行目	牛肉にしてもブラジルは世界2位の牛の飼育頭数を誇る国であり	牛肉にしてもブラジルは世界1位の牛の飼育頭数を誇る国であり
154	21	解答（後編）	58	下から11行目	メキシコはNAFTA(北アメリカ自由貿易協定)の	メキシコはNAFTA(現USMCA)の

155	21	解答（後編）	59	5行目下	※追加	(注意)ここでは，1人当たりGNIについてカナダとアメリカ合衆国が50000ドル，メキシコが10000ドル，人口についてカナダが3000万人，アメリカ合衆国3億人，メキシコ1億人という数字を用いている。より新しいデータ(2017年)によると，1人当たりGNIはカナダが45000ドル，アメリカ合衆国が60000ドル，メキシコが10000ドル，人口はカナダが4000万人，アメリカ合衆国が3億2000万人，メキシコが1億3000万人という概数になる。
156	21	解答（後編）	61	下から13行目	1人当たりGNIは5000ドルの工業国だが，都市人口率については際立って低い数値となる(40%)	1人当たりGNIは5000ドルを超える工業国だが，都市人口率については際立って低い数値となる(50%)
157	21	解答（後編）	65	下から8行目下	※追加	(注意)タイについてはより新しいデータ(2017年)の数値も知っておこう。1人当たりGNIは6000ドル，都市人口率は50%，第1次産業人口率は30%。
158	21	解答（後編）	61	下から7行目	アフリカの発展途上国は日本と比べ1人当たりGNIが100分の1であるのに対し，乳児死亡率は100倍である。	例えば，当時の日本の1人当たりGNIが5000ドルとして，アフリカの発展途上国の中にはその値が500ドル程度の国もある。1人当たりGNI(経済レベル)が低い分，乳児死亡率は高めである。
159	22	解答（後編）	71	2行目	大学受験地理においてしばしば出題される例外的な存在である。	地図記号がほとんど出題されない大学受験地理においてしばしば出題される例外的な存在であった。
160	23	テキスト（後編）	237	14行目	流れていた様子が残っているのだが。	流れていた様子が残っているのだが，読み取ることもできるだろうか。
161	23	テキスト（後編）	237	16行目	大学受験地理の地形図問題ではあまり地図記号は問われない。土地利用記号が解答のポイントとはなりにくいのとは対照的である。	地図記号は基本的なもののみ出題される。
162	24	テキスト（後編）	261	下から3行目	図の南部，一ノ岳に「岩の崖」の記号が見られる。チェックしておこう。大学受験地理で最も重要な地図記号の一つが「土の崖」であるが，これと対照させて岩の崖も知っておくこと。	北部「香春岳」の東側斜面に「土の崖」が見られ，南部「一ノ岳」には「岩の崖」が描かれている。重要な地図記号なので，チェックしておこう。
163	24	テキスト（後編）	262		本リストのP8に掲載	−
164	24	テキスト（後編）	270	[7]	※問題差替え(P273 確認テスト[2]と同一問題)	−
165	24	テキスト（後編）	274	最終行	※上記対応に伴い注記追加	(編集部注：本問は講義で扱った練習問題[7]と同一です。解き方がわからなければ，チャプター3を見直してみましょう。)
166	24	解答（後編）	85	[7]	No.164の対応に伴い解答も差替え	解答P118 確認テスト解答[2]と同一内容に変更

No.26 変更後はこちらよりご確認ください

［１人当たりＧＮＩ］

おおまかな値	ヨーロッパの国々 ●・・・ＥＵ	それ以外の国々 ◎・・・ＡＳＥＡＮ △・・・ＮＡＦＴＡ(現ＵＳＭＣＡ) ×・・・ＯＰＥＣ
70000$／人～	スイス(81130) ノルウェー(76160) ●ルクセンブルク(70790)	
60000$／人		カタール(60510) △アメリカ合衆国(59160)
55000$／人	●デンマーク(55330)	◎シンガポール(54530)
50000$／人	●スウェーデン(52270)	オーストラリア (51360)
45000$／人	●オランダ(46910) ●ドイツ(43700)	ホンコン (46310) △カナダ(42790)
40000$／人	イギリス(40600) ●フランス(38160)	ニュージーランド(38780) 日本(38520) イスラエル(37440)
35000$／人		
30000$／人	●イタリア (31180)	×クウェート(31430) 韓国(28380)
25000$／人	●スペイン (27150)	台湾(24984)
20000$／人	●ポルトガル (19930) ●チェコ (17960)	×サウジアラビア(20090)
15000$／人	●ハンガリー (12920) ●ポーランド (12730)	アルゼンチン(13030)
10000$／人	●ルーマニア (10000) ロシア (9220)	トルコ(10940) ◎マレーシア(9650) 中国(8690) △メキシコ(8610) ブラジル(8610)
5000$／人		◎タイ(5950) 南アフリカ共和国(5430) ×イラン(5430) ×アルジェリア(3940)
3000$／人		◎フィリピン(3660) ◎インドネシア(3540) エジプト(3010)
2000$／人		◎ベトナム(2160) ×ナイジェリア(2100) インド(1790) パキスタン(1580)
1000$／人		ケニア(1460) バングラデシュ(1470) エチオピア(740)

統計年次は2017年『データブック　オブ・ザ・ワールド』により作成。
単位は「＄」が一般的だが，数値の意味を考え，本表では「＄／人」を使用している。

２４．５　視線判定（２）

練習問題［７］も同様のアプローチで解答を求めることができる。

先に写真１を見てみようか。中心に縦線を引いて，中心にどんな地形が位置しているかを確認。中央手前から奥の方向に向かって弓なりにカーブを描く海岸がみられる。さらに左右も確認する。左側には大きく海が広がっているのに対し，右側は陸地で全体として平坦な地形。市街地も広がっているようだ。自分の視線とこの縦線を一致させ，実際にこの風景を眺めている様子を想像しよう。

続いて写真中央を横切る直線も引いてみよう。先程の縦線と合わせ，写真内に十字が描かれる。奥と手前の区別も明確にし，左奥，左手前，右奥，右手前に何が見えるか，より詳しく判読してみよう。やはりここでも海に注目しよう。左手前は陸地となっているが，左奥に向かって海が続いている様子がよくわかる。なお右側は手前も奥も陸地である。

次に図１に目を移そう。ＡからＤの矢印に沿ってそれぞれ直線を引き，「視線」を確定させる。できれば定規を使って正確に。これが先程写真１に描いた縦線と一致すると考える。自分の「視線」である。

さて，写真と最も合致する視線はＡからＤのいずれだろう。問題用紙（テキスト）を持ち上げ，実際に矢印の方向へと覗き込んでみてもいいだろう。はたしてそこにどんな風景が見られるか。

＜チェック！＞

弓ヶ浜半島は砂の堆積によって作られた地形で「砂州」である。かつてはこの半島は存在せず，図の中央から西部にかけて大きな入り江が存在していた。東側から運ばれる土砂が堆積し巨大な砂州が作られることで入り江は外洋から切り離され，湖が形成される。これを「潟湖（ラグーン）」と言い，図中の「中海」がこれに該当する。

図をよく見ると，中海と外洋とを結ぶ水路が存在することが分かる。弓ヶ浜半島と島根半島との間の「境水道」である。これを通じて中海には海水が入り込み，淡水と塩水の入り交じる「汽水湖」となっている。

ワンポイント

地形図問題のポイント。地形図を「立体視」することが非常に重要になる。

・標高・・・高低差が問われることが多い。標高を表す数値を探す。

・土地利用記号・・・地図記号が問われるケースは少ないが，土地利用記号の出題率は高い。とくに「田」が重要。田（水田）を判定することで低地がわかる。

・土の崖の記号・・・堤防，盛り土部，切り取り部，凹地を表現する際に土の崖の記号が用いられる。

・河川・・・河川の流れを確認することが問題を解くポイントになることが多い。常に河川の存在に気を配ろう。河川の流れに沿って，低地や谷となっていることが多い（天井川を除く）。